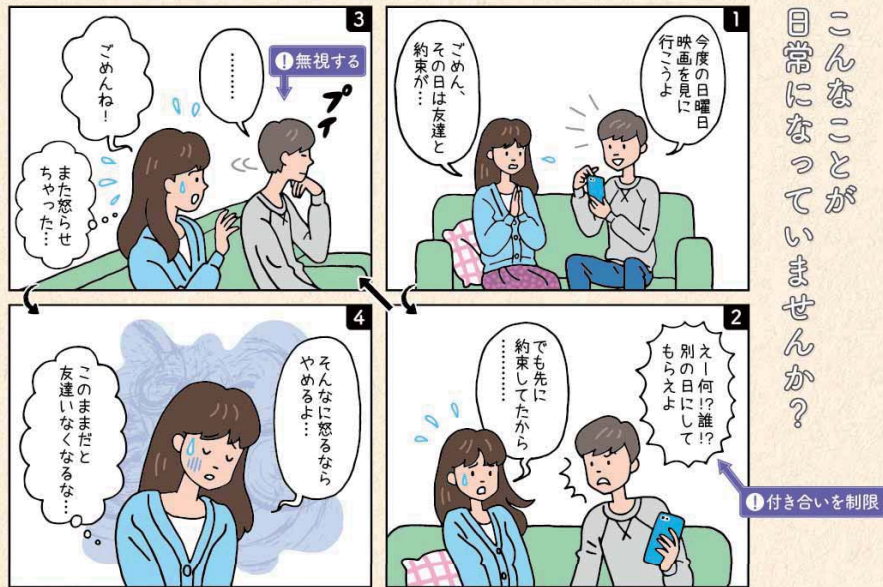


DVについて知る 暴力ってどんなこと?

暴力は、殴る・蹴るなどの身体に対するものだけでなく、怒鳴る・監視するなど、さまざまな形があります。ここでは、どんなことが暴力にあたるのかを見ていきます。



暴力の種類はさまざま

身体への暴力

- 殴る・蹴る・たたく
- 物を投げ付ける
- 突き飛ばす など

精神的な暴力

- 怒鳴る、暴言を吐く、ばかにする
- 無視する
- 殴るまねで脅す など

自由を奪う社会的な暴力

- 家族や友人との付き合いを制限する
- 電話の履歴やメールの内容をチェックする
- 行動を監視する など

お金に関する暴力

- 生活費を渡さない
- 外で働くことを禁じる
- 借金をさせる
- お金をたかる など

子どもを利用した暴力

- 子どもの前で暴力を振るう
- 子どもに相手の悪口を言う
- 子どもを傷つけると言って脅す など

性的な暴力

- 性的な行為を強要する
- 別れた後に相手の性的な画像や動画をインターネットなどで拡散する (リベンジポルノ) など

↳ このような経験をして、相手のことを「怖い」と思っていたら、それはDVかもしれません

最も繰り返し行われやすいのは精神的・社会的な暴力といった心理的なもの

国の調査によると、配偶者から「何度も暴力を受けたことがある」と答えた人が受けた最も多い被害は、人格を否定するような暴言や行動の監視などを含む心理的な暴力。被害が目に見えず、相手を傷つけている意識が芽生えにくいこともあり、繰り返し行われやすい傾向にあります。

知ってほしい 身近な問題DV

配偶者や交際相手など、大切な人と一緒に過ごしているのに、

「怖い」「苦しい」と思うことはありませんか。

今月の特集では、親密な関係にある(あった)相手を

暴力によって従わせる「DV」をテーマに、

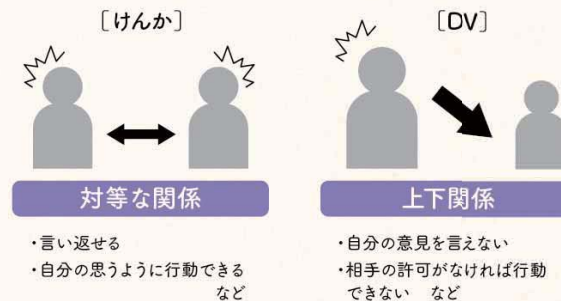
被害者や加害者にならないために知ってほしいことをお伝えします。

詳細 男女共同参画課 ☎211-2962

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは

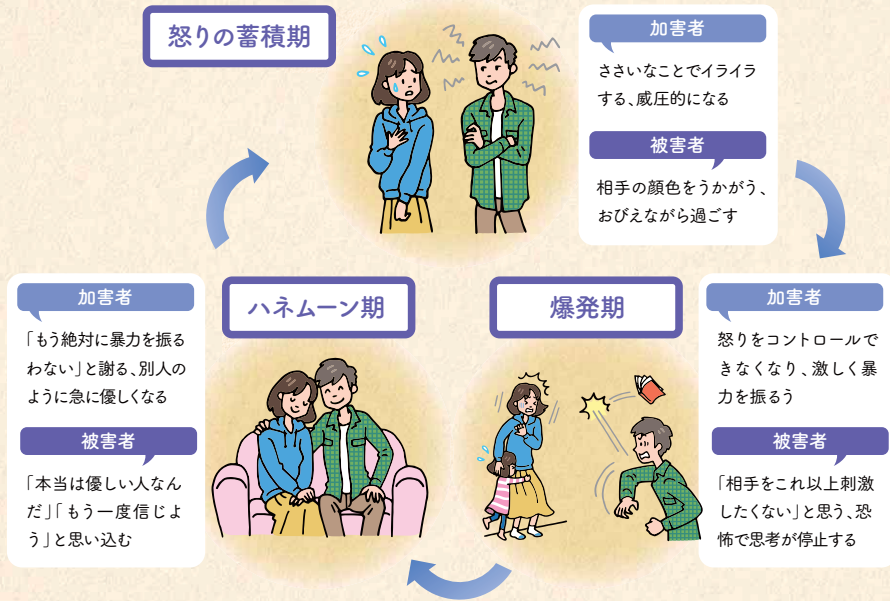
配偶者やパートナーなどの親しい間柄における、継続的な暴力により相手を自分の思い通りにしようとする態度や行動のことをいいます。対等の立場で意見をぶつけ合うけんかと異なり、DVは上下関係ができてしまうため、立場が弱い方は相手の言いなりになるしかない状態です。国の調査では、女性の約3人に1人、男性の約5人に1人が配偶者から暴力を受けたことがあると回答しています。

けんかとの違い



DVについて知る DVのサイクル

DVには、加害者が暴力を振るう時期と優しくなる時期が順番に訪れる特有の周期があります。繰り返すうちに暴力がエスカレートし、被害者は感覚がまひして疲弊した状態に。また、そのサイクルはだんだん速くなり、暴力から抜け出しにくくなるといわれています。



DVについて知る DVが与える影響

暴力は人を傷つけ、身体だけではなく、心や人間関係にも悪影響を及ぼします。場合によっては、今まで通りの日常生活を送れなくなることもあり、被害は深刻です。

心や身体への影響

- けがををする
- 体が震える、冷や汗をかく、動悸がする
- 長期間気持ち落ち込む
- 自分のせいだと思いつつ
- 自分に自信がなくなる
- ちょっとした物音や人影に驚く
- うつ病、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などの精神的な病気になる など

人間関係などへの影響

- 家族や友人との付き合いが制限される
- 相手の許可がないと人と会えなくなる
- 学校や職場に行けなくなる
- 友人がいなくなる
- 自分の好きな髪型や服装にすることができなくなる など

子どもへの影響

- 暴力におびえて不安感を持ちながら生活をする
- 暴力を日常的に目撃することで、心身の発達に悪影響を及ぼす
- 問題解決の手段として暴力を振るようになる など

DVについて知る デートDV

DVは配偶者との間だけでなく、交際の中学生など若い世代の間でも起こっており、これを「デートDV」と呼んでいます。国の調査によると、女性の約5人に1人、男性の約9人に1人が、交際相手から被害を受けたことがあると回答しています。



こんなことが
日常になっていませんか？

DVに関する疑問

どうしてDVが起こるの？

DVが起こる背景にはさまざまな要因がありますが、例えば以下のものがあるといわれています。

- ① 「男(女)はこうあるべき」といった性別による固定観念
- ② 理由があれば暴力を振るうのは仕方ないと、暴力を容認する傾向
- ③ お互いを独り占めして束縛することが愛情だと思ふ考え方 など

暴力を振るわれる人にも問題がある？

どのような場合であっても暴力を振るわれていい人は一人もいません。被害に遭う側の人は、信頼している人からの暴力により心が深く傷つき、混乱します。その中で、恐怖によって相手に支配されていってしまうのです。

どうしてなかなか別れられないの？

被害者は別れた後の生活の心配や、別れ話によって暴力がひどくなることを恐れて悩みます。度重なる暴力により自信をなくしたり、いつかは暴力を振るわなくなるかもしれないと期待したりして、なかなか別れを決断できません。

身近な人から相談を受けたときは

DV被害に悩む人から相談されたとき、掛ける言葉によっては、被害者が心を閉ざしてしまう場合も。相手を傷つけずに、話を聞くための心掛を紹介しします。

- 「あなたは悪くない」「よく相談してくれたね」という態度で、話を最後までじっくりと聞く
- 相談機関(右ページ下部)に連絡するようにアドバイスをする
- 「怒らせることをしたんじゃないの」「別れればいいでしょ」などと、被害者を責めるような言い方をしない
- 被害者の暴力体験を興味本位に聞き出さない



DVについてもっと知りたいときは

高校の放送局が作成したデートDV予防啓発動画を公開しています

札幌北高校、手稲高校の放送局が、デートDVを知ってもらうための動画を脚本から考えて制作。インターネットでそれぞれ公開しています。



札幌 デートDV 検索



動画を制作した
札幌北高校 放送局の皆さん

同世代の皆さんにも見てほしいです

デートDVは女性が被害を受けるイメージが強かったのですが、男性が被害に遭うこともあると知り、今回は男性が女性から被害を受ける設定にしました。動画の終盤では、加害者側の気持ちも表現することで、知らぬ間に相手を傷つけていないか、振り返るきっかけになるように工夫しています。約6分間で気軽に見られますので、ぜひご覧ください！

DV・デートDVを解説したパンフレットを配布しています

DVで問題になる暴力、被害者支援の制度や相談先をまとめたパンフレットと、デートDVを分かりやすく解説したパンフレットを配布中です。



配布場所
区役所、保健センター

暴力で傷つく人をなくすために

親密な関係にある相手との間で起こり、心や身体に大きな影響を及ぼすDV。市では、暴力に悩む方への相談支援体制の充実や、DVを未然に防ぐための知識や現状を伝える取り組みを進めていきます。もし2人の関係でつらいと感じることがあったら、信頼できる人や相談窓口と話してみませんか。

DVの被害に悩んでいたなら

暴力を受けていても、「相談するほどでもない」「自分にも悪いところがある」と考え、1人で悩む人も少なくありません。DVから身を守るために大切なことは何か、被害者の支援に携わっている方に聞きました。

インタビュー

NPO法人 女のスペース・おん代表理事 ^{やまがき} 山崎 菊乃さん
DV被害者の一時保護や相談業務、自立支援などを中心に活動している

—活動を始められたきっかけは何ですか

実は私自身が過去にDVを受けていた経験があり、少しでも同じ境遇の方の支援ができたらと思ったのがきっかけで、15年前から活動しています。当時の夫からは、例えば料理の調味料がいつもと違うといったような、ささいなことで殴られたり蹴られたりしていました。どんな理由で気分を害するか分からないので、常に顔色をうかがっていましたね。暴力を振るわれているときは「早く終わらないかな」と思う程度で、感覚がまひしていたと思います。



—どのようにして被害から抜け出したのですか

一度私から離婚を切り出しましたが、そのときは夫に泣きながら謝られたんです。子どものことも考えてやり直すことにしましたが、結局その後もDVは続きましたね。転機となったのは、あるとき友人につらいという気持ちを打ち明けたこと。その友人が紹介してくれた専門機関の手助けで、子どもと一緒に家から逃げ出し、別の場所で新たな生活を始めることができたんです。

—悩んだときに大切なことは何でしょうか

どこからかDVなのか迷うこともあると思いますが、つらいと感じたらそれはもう暴力です。もし悩みがあれば、まずは信頼できる人に話をすることが大切。それがきっかけで、私のように、自分らしい生活を取り戻した方が数多くいます。また、相談を受けた方は、自分だけで解決しようとせず、必ず専門機関へ相談してほしいです。その方の状況にあった支援を受けられる第一歩となるのではないのでしょうか。

DV、デートDVの相談はこちらへ

■市配偶者暴力相談センター

☎728-1234

〔平日〕8時45分～20時
〔土・日曜、祝・休日〕11時～17時

こんな支援をしています

- ・電話相談、面談(予約制)、カウンセリング(女性のみ。予約制)
- ・専門の相談員による関係機関への付き添い
- ・住まい、生活などのアドバイス など

■各区健康・子ども課(各区保健センター内)

区	所在地	電話番号	区	所在地	電話番号	受付日時
中央	南3西11	511-7224	豊平	平岸6の10	822-2473	相談員がいる時間 〔月曜〕
北	北25西6	757-2563	清田	平岡1の1	889-2051	
東	北10東7	711-3214	南	真駒内幸町1	522-5780	9時45分～16時30分
白石	南郷通1南	861-0336	西	琴似2の7	621-4241	〔月曜を除く平日〕
厚別	厚別中央1の5	895-2499	手稲	前田1の11	681-1211	9時45分～16時15分

緊急に避難したいときは、平日8時45分～17時15分は各区健康・子ども課へ、土・日曜、祝・休日、夜間、身に危険が迫っているときは☎110へ